

平成 29 年度東海・北陸ブロック研修会報告書

| | |
|--------------|--|
| 研修 テーマ | 保健師活動の可視化及び質の向上への取組 ～地域に責任を持った活動の可視化と質の向上を目指して～ |
| 開催日時 | 平成 29 年 8 月 26 日（土） 10 時 30 分～ 16 時 00 分 |
| 会場 | 名称：名古屋国際会議場 会議室 224 号 住所：愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1-1 |
| 参加人数 | （ 121 人） ※講師・発表者・運営役員・研究報告者を含む |
| 研修の 概要 | <p>(1) 全国保健師長会の活動報告 報告者：全国保健師長会 副会長 山野井尚美 氏</p> <p>(2) 研究報告 地域包括ケアシステム構築の推進にかかる保健師の役割に関する研究 報告者：大分県西部保健所 地域保健課 主幹 吉田知可 氏</p> <p>(3) 実践報告（座長：愛知県支部 水野支部長） ①糖尿病対策・地域連携協議会を通じた県保健所の役割 報告者：石川県石川中央保健福祉センター 企画調整課 課長 寺西衣姫 氏 ②地域包括ケアシステム構築における保健師の役割 報告者：名古屋市南区役所 区民福祉部福祉課 主査 伊藤和子 氏</p> <p>(4) グループワーク 地域に責任を持った保健師活動を強化するために ～業務担当制・地区担当制それぞれの取組～ 話題提供「地区担当制の実践から～豊田市の場合～」 報告者：豊田市保健部 地域保健課 主幹 鈴木稚佳子 氏 講評：吉田知可 氏 山野井尚美 氏</p> |
| 参加者の 感想など | 参加者が全国保健師長会の活動内容や活動意義を理解するとともに、先進的な実践報告から「地域に責任を持った保健師活動の可視化と質の向上」にはどうあるべきかを学んだ。また、グループワークでは活発に意見交換がなされ、日ごろの活動を見直す有意義な研修会となった。全体を通じて「たいへん参考になった」が 61.8%、「参考になった」 35.3%で、概ね好評であった。内容別には、特にグループワークの満足度が一番高かった。（「たいへん参考になった」 58.8%） |
| 報告者 | 所属・氏名：豊田市役所 保健部 地域保健課 柴川ゆかり 電話番号・アドレス：0565-34-6627 chiikihoken@city.toyota.aichi.jp |